

**製品名: PTPRC マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81292**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	147.3kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PTPRC
別名	LCA; LY5; B220; CD45; L-CA; T200; CD45R; GP180
遺伝子 ID	5788.0
SwissProt ID	P08575
免疫原	大腸菌で発現したヒト PTPRC (AA: 928-989) の精製された組み換え断片。

**背景**

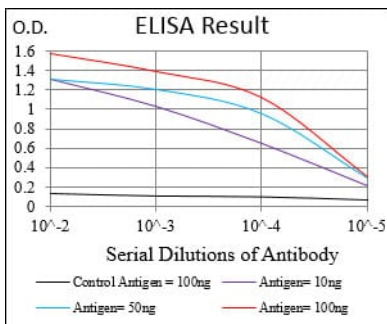
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、タンパク質チロシンホスファターゼ (PTP) ファミリーのメンバーです。PTP は、細胞の成長、分化、有糸分裂、および癌化を含むさまざまな細胞プロセスを制御するシグナル伝達分子として知られています。この

PTPは、細胞外ドメイン、単一の膜貫通セグメント、および2つの直列の細胞質内触媒ドメインを含むため、受容体型 PTP に分類されます。この PTP は、T 細胞および B 細胞の抗原受容体シグナル伝達の重要な制御因子であることが示されている。抗原受容体複合体の構成要素と直接相互作用するか、抗原受容体シグナル伝達に必要なさまざまな Src ファミリーキナーゼを活性化することにより機能します。この PTP は JAK キナーゼも抑制するため、サイトカイン受容体シグナル伝達の制御因子としても機能します。この遺伝子の選択的スプライシング転写バリエーションは、異なるアイソフォームをコードすることが報告されています。

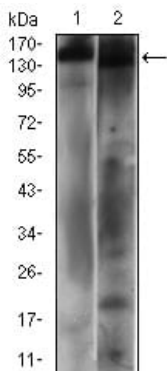
## 研究分野

Jak-STAT シグナル伝達経路

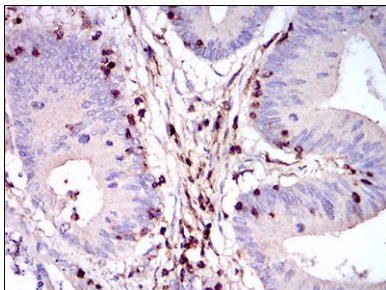
## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



Hela (1) および A431 (2) 細胞溶解物に対する PTPRC マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



PTPRC マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。